

## 博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果

機 関 名	大阪大学	整理番号	C04
プログラム名称	生体統御ネットワーク医学教育プログラム		
プログラム責任者	金田 安史	プログラムコーディネーター	竹田 潔

### 博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価

#### [総括評価]

計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。

#### [コメント]

リーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築については、前期課程から生命科学の分野間の枠組みを取り払った教育体制と充実した外国語教育が組み立てられており、さらに、後期課程においても、中間評価結果を踏まえて、更なるグローバルリーダー育成のカリキュラムが組み込まれるとともに、学位審査体制に関しても、グローバルに活躍するリーダーとなるに相応しい資質・能力を保証するシステムが構築されており、十分に評価できる。ただし、企業との連携は強化されているものの、インターンシップ活動は実績が少なく、海外インターンシップも含め、学生のキャリアパス構築にとって重要なインターンシップ制度に関してより一層の充実が望まれる。

修了者の成長とキャリアパスの構築については、現時点では、研究職と別の領域でのキャリアを求めてポストを得ている修了者はごく少数であるが、現在のプログラム学生の中には研究職以外のキャリアを模索している者が少なからずいる。本プログラム開始時点での入学者のほとんどがプログラム修了後に研究職でのキャリアパスを希望していたことを考えれば、本プログラムにおけるグローバルリーダーを目指す意識付けは効果的に機能していると考えられ、十分に評価できる。

事業の定着・発展については、大学として学長のリーダーシップの下、新たに「国際共創大学院」を立ち上げ、本プログラムを含む全ての博士課程教育リーディングプログラムを取り込み、自らの資金によるプログラム継続を考えている点は評価できる。ただし、新たな大学院計画の詳細は決まっておらず、本プログラムが目指しているグローバルリーダー育成のためのプログラムと体制の維持が可能であるかは明確でなく、加えて、特に移行時における財務面での支援計画も具体性に欠けるため、その継続性に不安があるなどの問題も少なからずあることから、今後一層の努力が望まれる。